

2017年3月期 決算説明会

2017年5月29日

日本ロジテム

証券コード: 9060

URL:<http://www.logitem.co.jp>



本日の内容

1. **2017年3月期 決算の実績**
2. **2018年3月期の見通し**
3. **今後の取り組み**



本日の内容

- 1. 2017年3月期 決算の実績**
2. 2018年3月期の見通し
3. 今後の取り組み



2017年3月期 決算のポイント

〈決算結果〉 営業収益は増収、営業利益・経常利益は減益、最終利益は固定資産売却益の計上により増益（前年同期比）

【増収要因】

1. 前連結会計年度に取引を開始した得意先の収益が寄与
2. 新規得意先の獲得もあり3PL事業が拡大

【減益要因】(営業利益・経常利益)

1. ベトナムにおいて燃料価格の変動に伴う価格調整や最低賃金上昇に伴う人件費増加の影響により利益率が低下

〈国内〉 大型拠点を中心に3PL事業が拡大、通販営業部を新設

1. 新規得意先の獲得や既存得意先との取引範囲拡大により3PL事業が拡大
2. 前連結会計年度に開設した大型拠点の安定稼働に注力
3. 通販営業部を新設し、拡大する通販物流ニーズに応える体制を整備

〈海外〉 インドシナ半島地域の事業展開が進捗

1. ベトナム、タイなどで現地通貨に対し為替が円高で推移
2. カンボジア子会社設立、バンコク駐在員事務所の開設などインドシナ半島地域における国際陸上輸送網の構築に向けた取り組みが進展
3. ベトナムで冷凍冷蔵倉庫事業を開始し物流サービスを拡充



2017年3月期 決算の概要

営業収益は増収、営業利益および経常利益は予想を上回る

(単位:百万円)

	実績				業績予想 (17年1月30日修正発表)	
	16/3期	17/3期	増減額	増減率	17/3期	増減額
営業収益	43,153	43,387	+233	0.5%	43,200	+187
営業利益 (同利益率)	273 (0.6%)	201 (0.5%)	-72	-26.5%	100 (0.2%)	+101
経常利益 (同利益率)	238 (0.6%)	137 (0.3%)	-101	-42.5%	50 (0.1%)	+87
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同利益率)	45 (0.1%)	463 (1.1%)	+417	920.8%	450 (1.0%)	+13
主要為替レート(TTM) VND(ベトナムドン)	1VND=0.00552円 (1円=181VND)	1VND=0.00487円 (1円=205VND)	-0.00065円	-11.8%	1VND=0.00487円 (1円=205VND)	±0円



事業の種類別セグメント業績

大型拠点への得意先誘致が進捗し、アセット事業が拡大

セグメント別業績

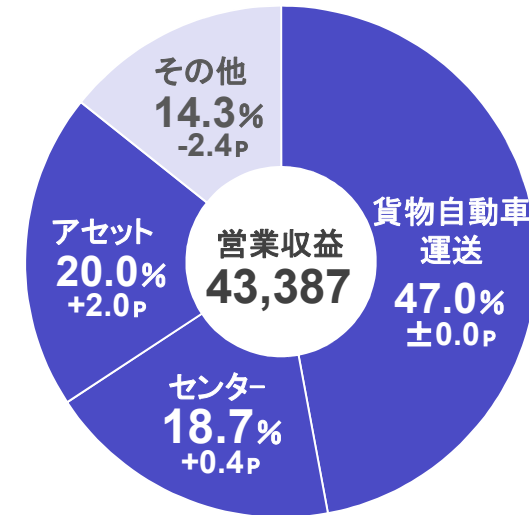
上段: 営業収益
下段: セグメント利益

(単位: 百万円)

	16/3期	17/3期	増減額	増減率
貨物自動車運送事業	20,281	20,417	+136	0.7%
	1,145	1,203	+57	5.0%
センター事業	7,919	8,107	+188	2.4%
	473	407	-65	-13.9%
アセット事業	7,755	8,659	+904	11.7%
	410	385	-25	-6.1%
その他事業	7,197	6,201	-995	-13.8%
	880	778	-101	-11.5%

構成比

※Pはシェアの増減ポイント
(前年同期比)



貨物自動車運送事業

トラック等を使用して商品を運送する事業

- ・新たな配送業務の受託により取引が拡大
[日本ロジテム]
- ・配送ルート見直しなどにより効率が向上
[日本ロジテム]

センター事業

商品の入出庫等の荷役などを行う事業

- ・前期の期中に取引を開始した得意先の収益が寄与
[日本ロジテム]
- ・一部で低調な荷動きの得意先があり倉庫内作業の効率が低下
[日本ロジテム] [阪神ロジテム]

アセット事業

商品の倉庫保管、不動産賃貸借を行う事業

- ・前期開設した大型拠点への得意先誘致が進捗
[日本ロジテム]
- ・一部拠点で得意先の入れ替えによりタイムラグが発生したことにより倉庫稼働率が低下
[日本ロジテム]

その他事業

引越、施工、通関、旅客運送などを行う事業

- ・ハイヤー事業で車両稼働率が低下、価格調整および人件費増加が影響
[LOGITEM VIETNAM NO.1]
- ・物品販売事業で取扱商品の売上が減少
[L&K TRADING]



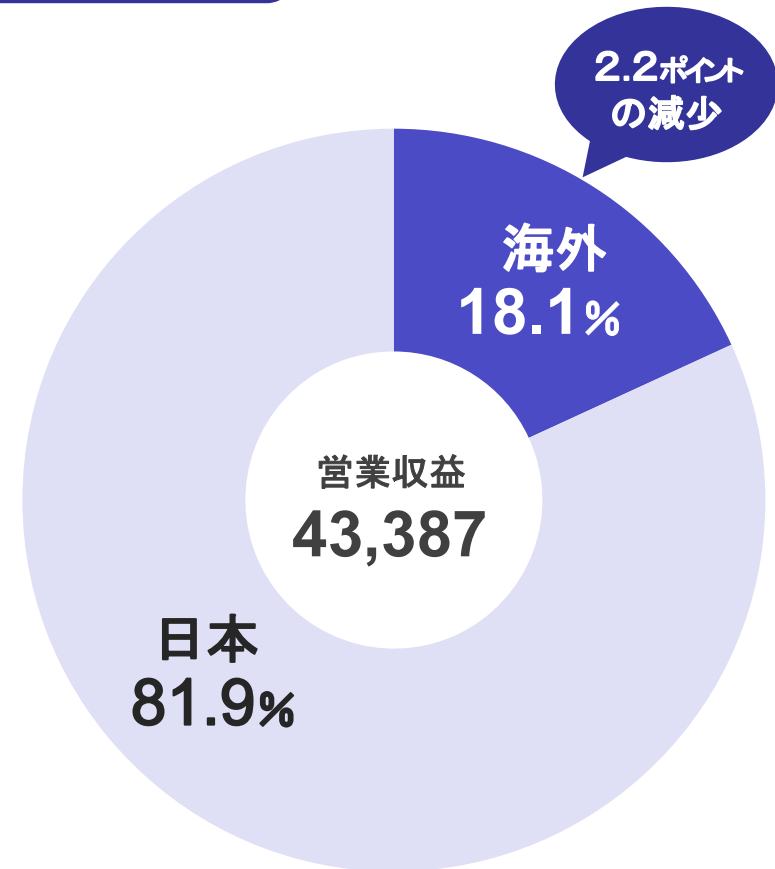
所在地別の営業収益

海外は、為替変動の影響を受けるも現地通貨ベースでは増収

所在地別売上



売上構成比



(海外: 中華圏、タイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア)



燃料価格、為替の変動による影響額

為替は期初の想定レート以上に円高が進みマイナスに影響

燃料(軽油)単価比較		16/3期 (15/3期比較)	17/3期 (16/3期比較)
影響額※1	営業総利益	+2億96百万円	+86百万円
(参考) 平均購入単価	日本 (使用量)	82.2円 (4.2百万ℓ)	78.2円 (4.2百万ℓ)
	ベトナム (使用量)	14,070VND (5.0百万ℓ)	11,249VND (4.8百万ℓ)

※1 軽油平均購入単価の増減×当期使用量

為替レート比較		16/3期 (15/3期比較)	17/3期 (16/3期比較)
影響額※2	営業収益	+8億6百万円	-10億50百万円
	営業利益	+16百万円	-33百万円
(参考) 為替レート(TTM) ベトナムドン(VND)		1VND=0.00552円 (1円=181VND)	1VND=0.00487円 (1円=205VND)

※2 海外各社の当期実績(現地通貨、連結調整後)×当期と前期の為替レート差

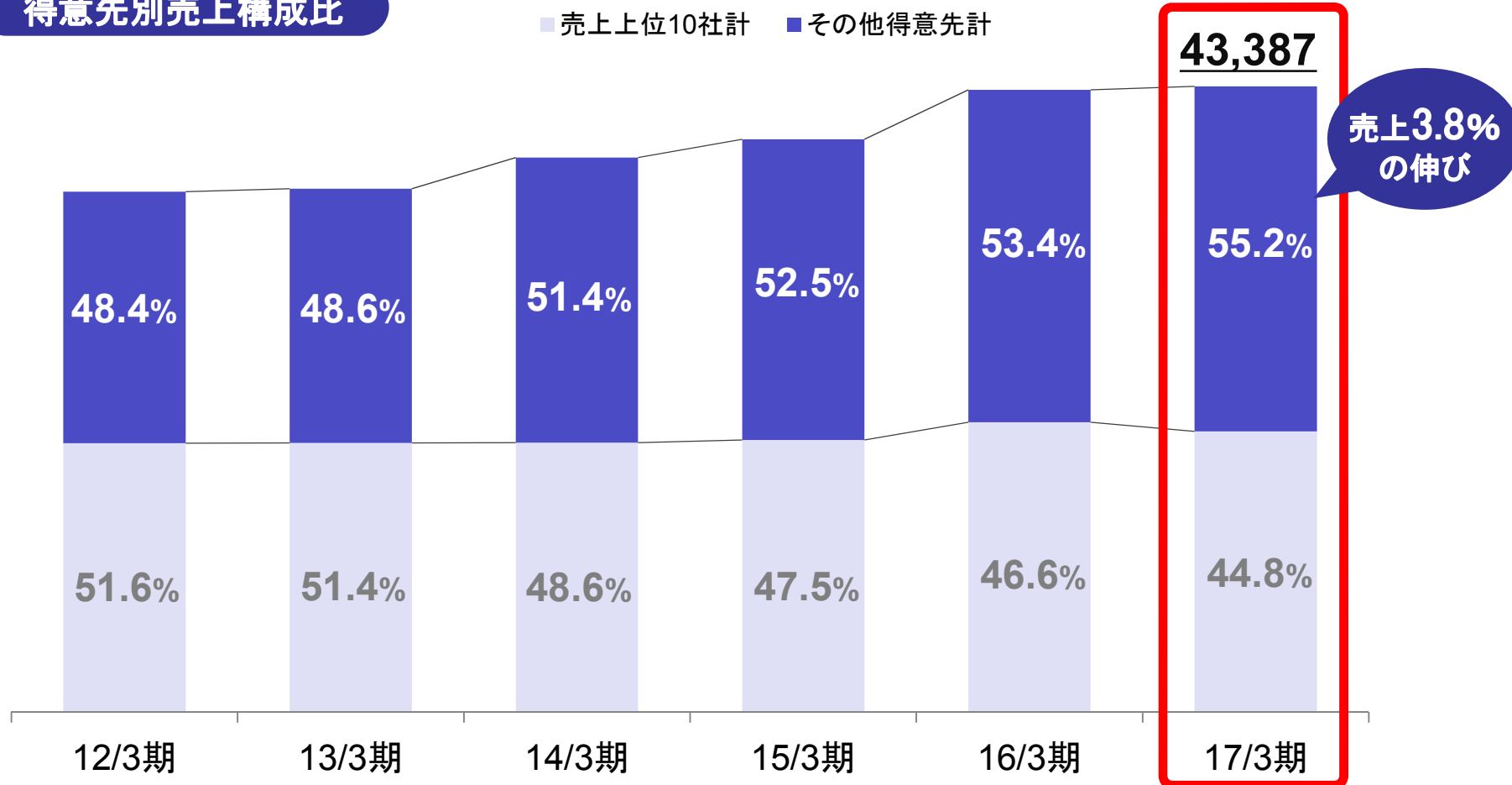
期初の想定レート
1VND=0.00519円
(1円=193VND)



クライアントの構成

新規得意先の獲得により、その他の得意先が続伸

得意先別売上構成比





主な新規得意先の開発実績(国内)

市場の拡大が見込める通販関連など川下物流の開発が進む

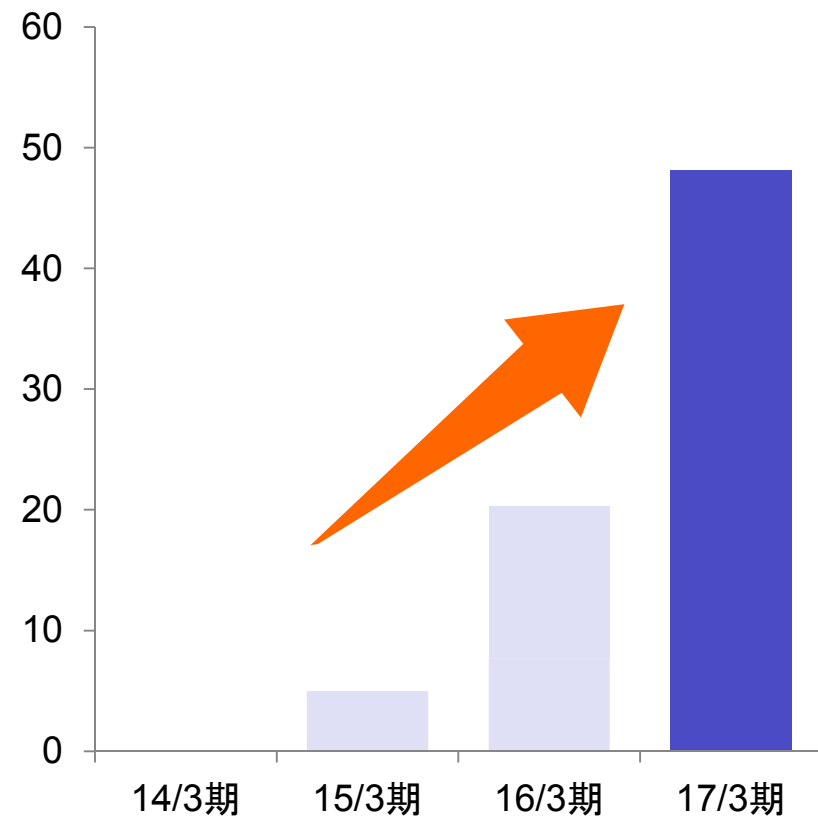
新規獲得状況

本稼働時期	取扱貨物	営業拠点
16/5月	ガラス類	福島県
16/6月	自動車部品	神奈川県
16/7月	食品	埼玉県
16/8月	輸入家具	神奈川県
16/9月	雑貨	埼玉県
16/9月	飲料	群馬県
16/11月	通販	埼玉県他
17/5月	自動車部品	埼玉県

※2017年3月期に受注した日本ロジテムの新規得意先のうち、
主な実績を抜粋

売上(新規得意先)

(単位:億円)



※15/3期以降に日本ロジテムで取引を開始した得意先の営業収益の推移

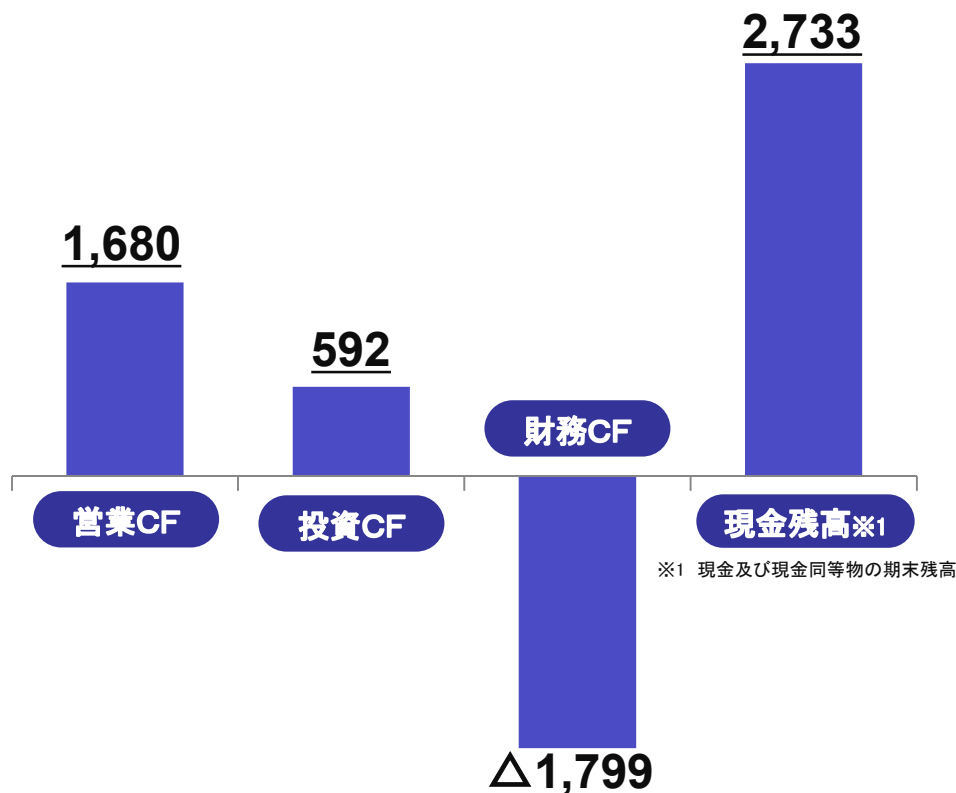


キャッシュ・フロー

所有する土地建物の一部を売却したことにより投資CFが増加

17/3期キャッシュ・フロー

(単位:百万円)



主なキャッシュの増減要因

営業CF 「税金等調整前当期純利益」の増加
「減価償却費」の増加

投資CF 「有形固定資産の売却」による収入

財務CF 「短期借入金」の減少
「長期借入金」の減少

(参考)キャッシュ・フロー比較

	16/3期	17/3期	増減
営業CF	1,282	1,680	+397
投資CF	Δ1,839	592	+2,432
財務CF	224	Δ1,799	-2,023
換算差額※2	Δ44	Δ25	+19
現金残高※1	2,284	2,733	+449

※2 現金及び現金同等物に係る換算差額



設備投資の状況

事業用車両を中心に設備投資を実施

設備投資の推移

※各社設備投資状況(有形固定資産、グループ間取引含む)

(単位:百万円)

	15/3期	16/3期	17/3期	増減額	主な内容
建物・構築物	143	273	417	+144	ラオス倉庫建設、倉庫設備等
機械装置・運搬具	363	1,108	287	-821	事業用車両、荷役機器等
工具・器具・備品	52	41	24	-17	倉庫設備等
リース資産	464	479	304	-175	事業用車両リース
建設仮勘定	27	55	△74	-129	ラオス倉庫建設振替
合計	1,051	1,958	959	-999	
※()は地域別計 上段:日本、下段:海外	(704) (347)	(830) (1,128)	(559) (400)		

18/3期は
10億円程度
を予定



本日の内容

1. 2017年3月期 決算の実績
2. 2018年3月期の見通し
3. 今後の取り組み



2018年3月期の見通し

増収および営業増益となる見通し

(単位:百万円)

	17/3期 実績	18/3期 予想	増減額	増減率
営業収益	43,387	44,000	+612	1.4%
営業利益 (同利益率)	201 (0.5%)	220 (0.5%)	+18	9.2%
経常利益 (同利益率)	137 (0.3%)	170 (0.4%)	+32	23.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同利益率)	463 (1.1%)	7 (0.0%)	-456	-98.5%
1株あたり当期純利益	33.86円	5.11円	—	—
配当金	8円	2Q末4円、期末40円	—	—

※当社は、第101回定時株主総会(平成29年6月29日開催予定)での承認可決を条件に、平成29年10月1日を効力発生日として、株式併合および単元株式数の変更を実施する予定であります。



営業収益の見通し(事業の種類別)

貨物自動車運送事業が拡大する見通し

(単位:百万円)

	16/3期 実績	17/3期 実績	18/3期 予想	増減額	増減率	セグメント別の 見通し
貨物自動車 運送事業	20,281	20,417	20,637	+219	1.1%	・17/3期中に取引を開始した得意 先の配送拡大(日本ロジテム)
センター事業	7,919	8,107	8,285	+177	2.2%	・17/3期に開設した拠点での倉 庫内作業が拡大(タイ)
アセット事業	7,755	8,659	8,833	+173	2.0%	・17/3期に取引終了などにより低 稼働となった拠点の稼働率向上 (日本ロジテム)
その他事業	7,197	6,201	6,243	+41	0.7%	・輸出入取扱の増加(ベトナム) ・卸売、小売事業は減少(ベトナム)
営業収益計	43,153	43,387	44,000	+612	1.4%	



営業収益の見通し(所在地別)

国内は増収、海外は前期並みとなる見通し

(単位:百万円)

	16/3期 実績	17/3期 実績	18/3期 予想	増減額	増減率	所在地別の 増減予想
日本	34,412	35,520	36,209	+689	1.9%	日本ロジテム +5.0億円
(構成比)	79.7%	81.9%	82.3%			国内子会社 +1.8億円
海外	8,741	7,867	7,790	-77	-1.0%	ベトナムグループ -2.7億円
(構成比)	20.3%	18.1%	17.7%			ほか海外子会社 +1.9億円
営業収益計	43,153	43,387	44,000	+612	1.4%	
主要為替レート(TTM) VND(ベトナムドン)	1VND=0.00552円 (1円=181VND)	1VND=0.00487円 (1円=205VND)	1VND=0.00487円 (1円=205VND)	±0円	—	

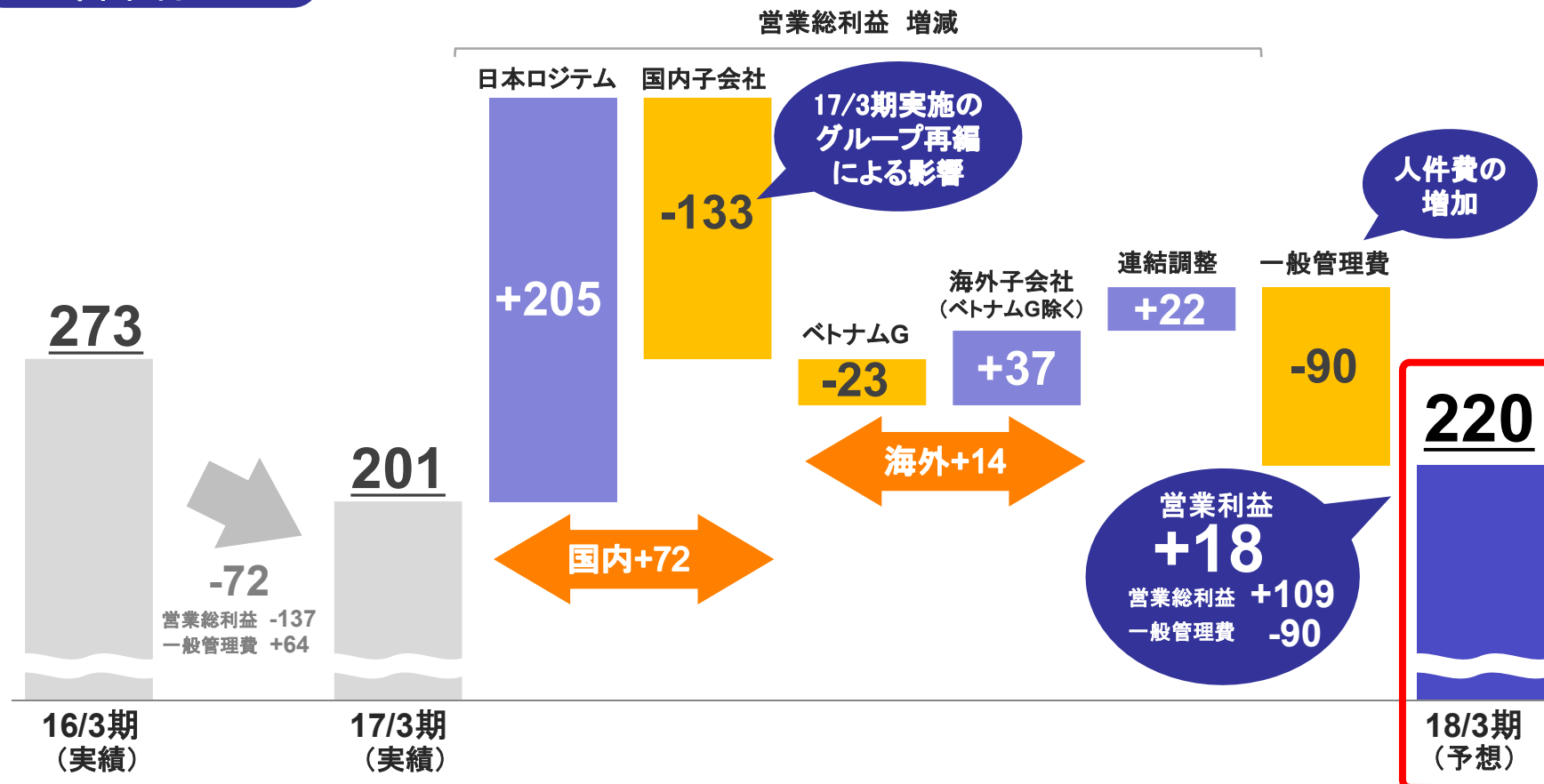


営業利益の見通し

日本ロジテムおよび海外(ベトナムG除く)が利益を伸ばす見通し

営業利益

(単位: 百万円)





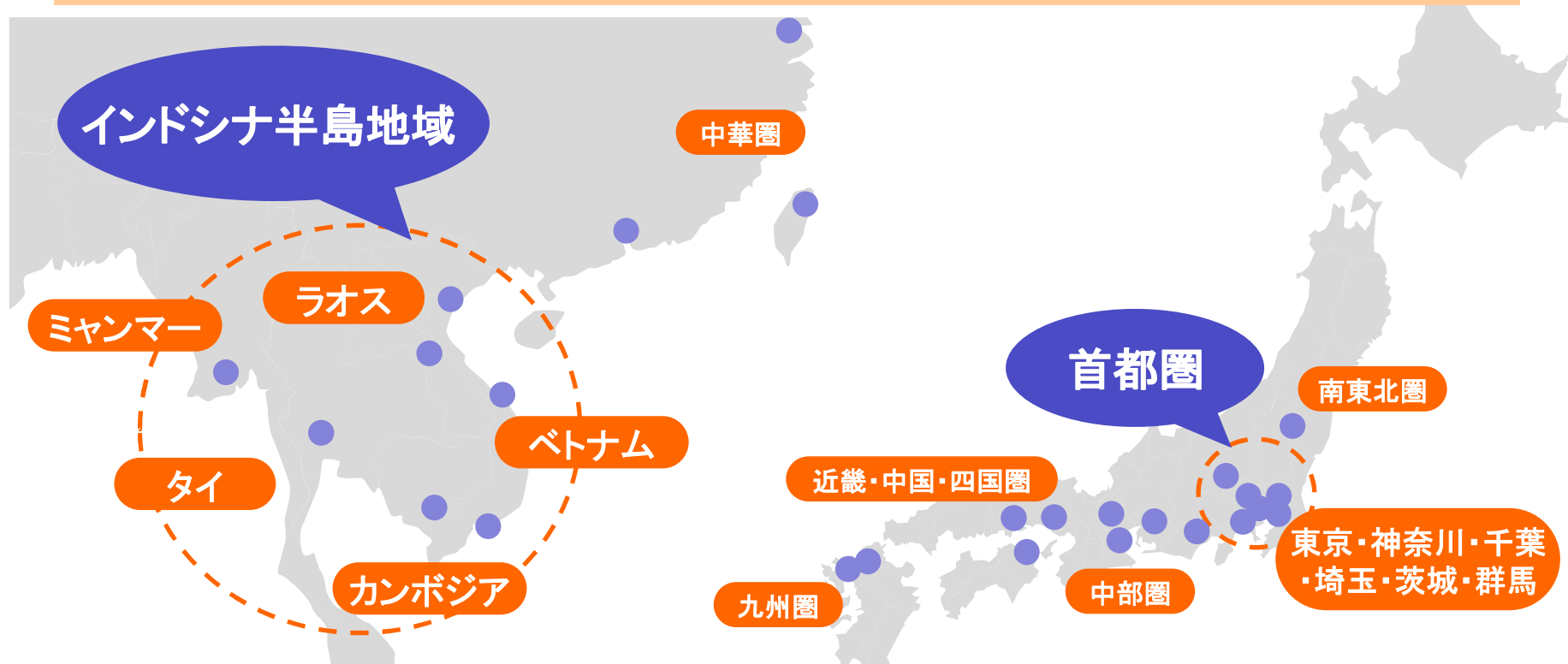
本日の内容

1. 2017年3月期 決算の実績
2. 2018年3月期の見通し
3. 今後の取り組み



当社グループの特徴、強み（エリア展開）

首都圏およびインドシナ半島地域を中心に展開



- ・国内最大の消費地である首都圏を中心に拠点を拡充
- ・物流ニーズに応じた拠点展開を図り、南東北から九州エリアをカバー
- ・いち早く進出したベトナムをはじめインドシナ半島地域に特化したエリア展開



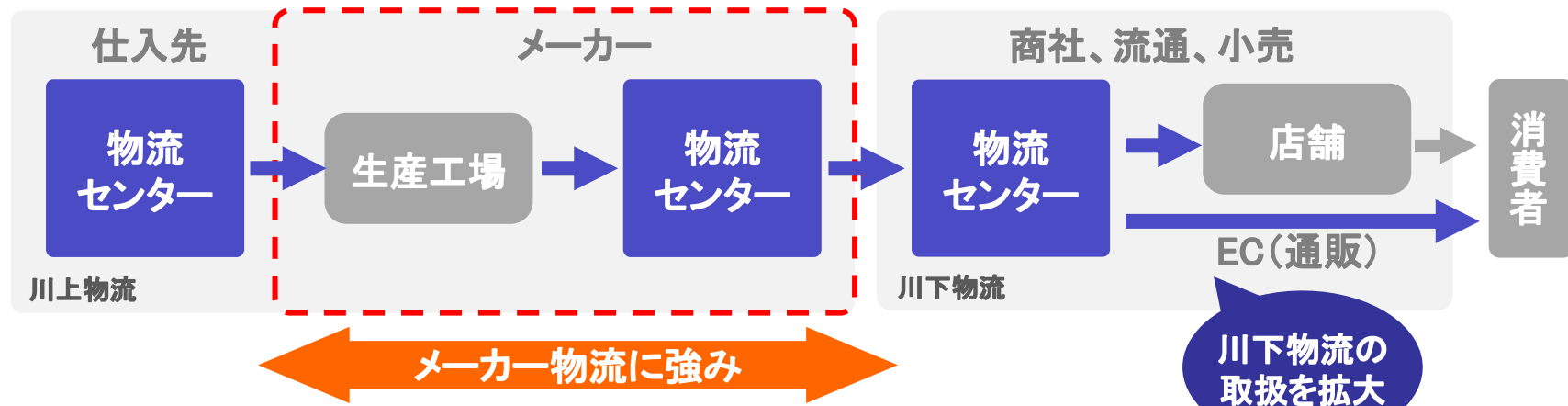
当社グループの特徴、強み（物流サービス）

メーカー物流を基盤としながら、幅広いサービスを提供

サプライチェーン

→ トラック等による運送

■ 入在庫、保管、荷役、在庫管理、流通加工等



- ・メーカー物流を主体に3PL(トラック運送、倉庫、流通加工など)サービスを提供
- ・食品、インテリアなど衣食住商品メーカー関連の物流ノウハウ
- ・様々なニーズに対応可能なマルチテナント型の倉庫を拡大
- ・工場内作業請負、施工、販売、引越など物流周辺事業を充実
- ・ベトナムにおける事業範囲の広さ(物流、旅客自動車運送、卸売小売など)



物流業界を取り巻く事業環境

人口減と少子高齢化

ドライバーおよび荷役作業者の不足や高齢化、国内荷動きの鈍化、業界全体での物流生産性向上への取り組み、多様な人材の活用

川下主導の物流

消費行動の変化、EC市場の拡大、コンビニ・専門小売店の拡大、メーカー生産拠点の海外移転、消費者に合わせた生産・流通体制へ移行

コストの増加

多様・高度化する物流ニーズへの対応、人手不足や労働法の規制厳格化による人件費や外注費の上昇、インドシナ半島地域の経済成長に伴う人件費の上昇、不透明な燃料価格、各種税負担の増加

事業者間の競争激化

価格競争の激化、人材獲得競争、業界再編、海外への日系物流企業進出や現地企業の台頭

第4次産業革命

IoT、AI、ビッグデータ、ロボット、自動化、省人化などによる産業構造の変化

災害等の発生リスク

大規模災害の発生、倉庫火災、交通事故、労災事故などへの適切な対応



中期経営計画2019

基本戦略の実行により成長を図る

■基本戦略

1. 輸送力の強化

貨物自動車運送事業のサービス力および収益力を改めて強化し当社の強みとする。

2. 成長市場へのシフト

今後の伸びが期待できる分野(業種、サービス)にスピードと柔軟性を持って取り組み、新たな収益の柱を確立する。

3. 国際物流の強化

国内企業や海外の日系・現地企業に対しグループ間連携による包括的な国際物流サービスをコーディネートし提案できる体制を構築する。



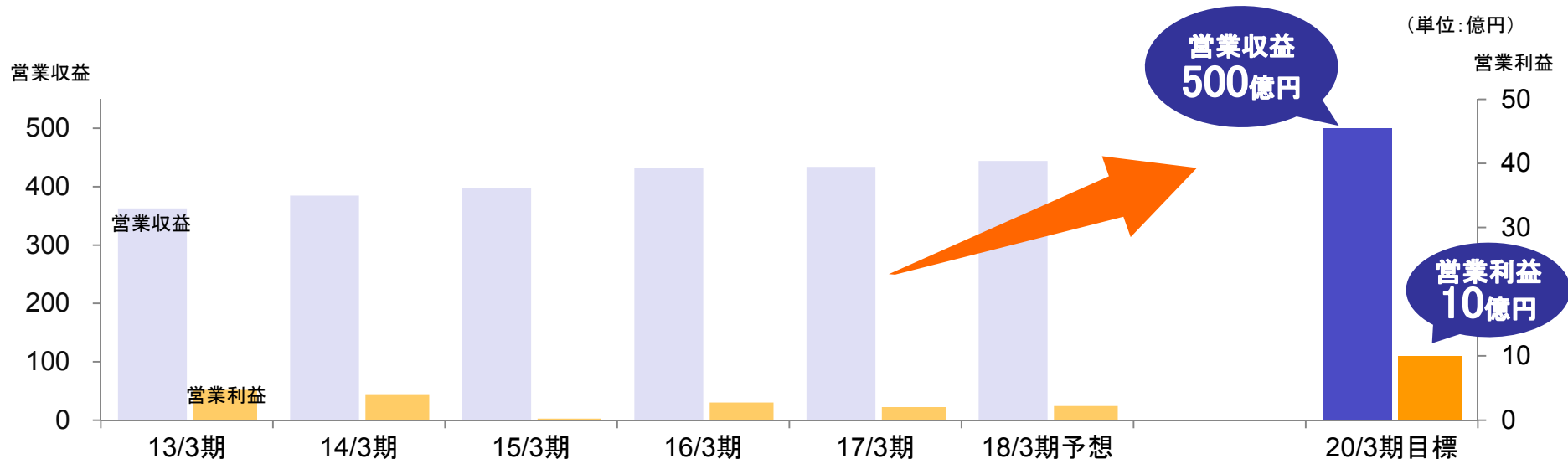
中期経営計画2019 業績目標

既存収益基盤の強化および新たな収益の柱の確立に取り組む

■ 中期経営計画 最終年度(2019年度)目標

営業収益(連結) 500億円

営業利益(連結) 10億円 (利益率2%)





国内の重点施策

国内

3PL事業の拡大

- ・市場ニーズに応じた営業資産（自社車両、倉庫）の増強
- ・貨物自動車運送事業のサービス力、収益力の向上
- ・通販や小売関連など成長が見込まれる分野の事業拡大
- ・事業の集中と選択の実行による成長市場へのシフト
- ・グループ連携によるグローバルな営業開発の推進
- ・環境変化に適応する労働環境の整備



輸送力の強化

貨物自動車運送事業のサービス強化、収益向上を図る

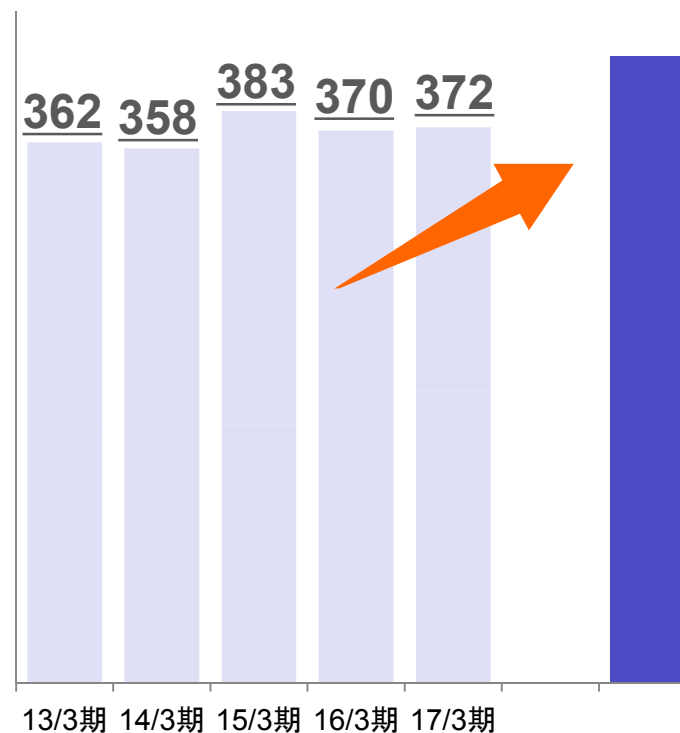
輸送力強化に向けた施策

- ・ニーズに応じ自社車両を増強
- ・多様な輸配送ニーズに応える輸送力の構築
- ・グループ間、拠点間連携による配送効率の向上
- ・自車および協力車の適正配置
- ・輸配送の安全運転レベルの向上



車両台数の推移

(単位:台)



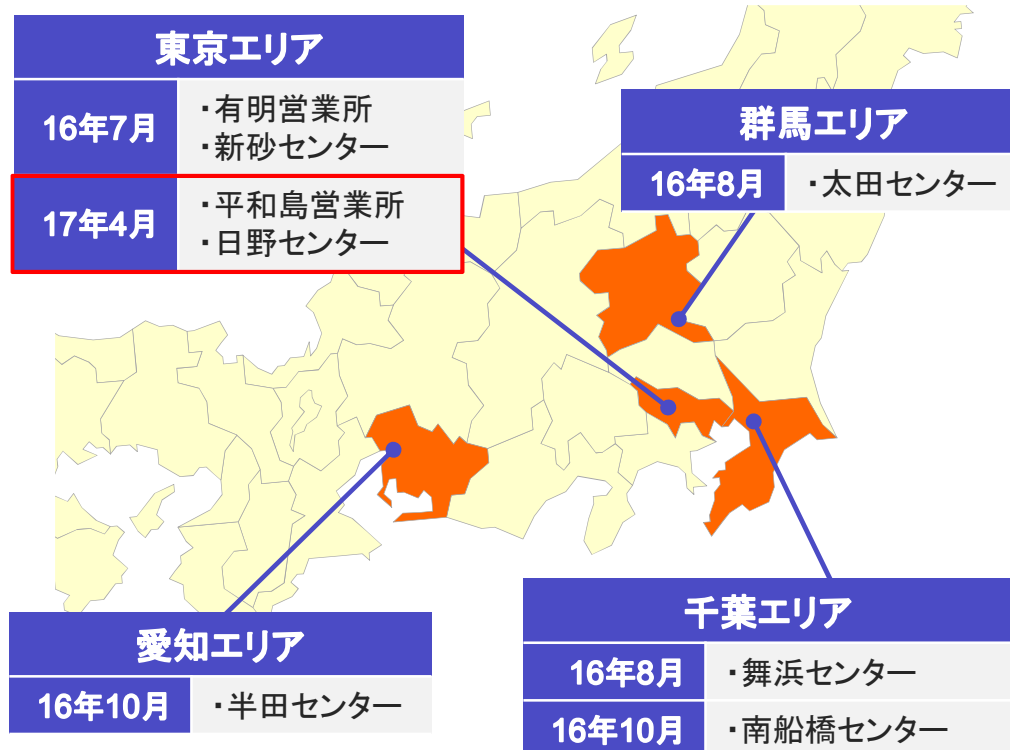
※当社および国内連結子会社の保有車両台数
(持分法適用関連会社は除く)



国内拠点展開の状況

ニーズに応じた機動的な拠点展開を進める

16年4月以降の新設拠点



倉庫面積の推移

(単位:千坪)

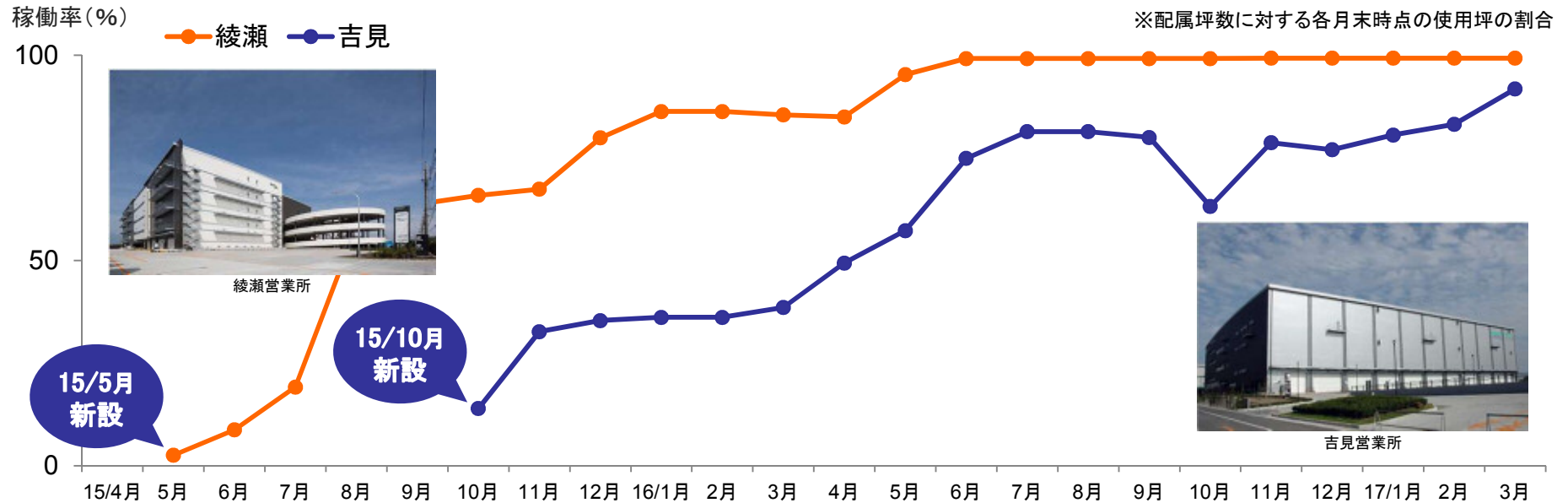


※当社および国内連結子会社の保有および借用倉庫面積計
(持分法適用関連会社は除く)



大型拠点の概況

両拠点ともに高稼働で堅調に推移



日本ロジテム 綾瀬営業所	
所在地	神奈川県綾瀬市小園771
敷地面積	31,699.41m ² (約9,589坪)
延床面積	68,642.64m ² (約20,764坪)
構造	地上5階建、免震PC構造、一部鉄骨造
主要取扱品	インテリア、食品、その他(日用・衛生用品)など

日本ロジテム 吉見営業所	
所在地	埼玉県比企郡吉見町西吉見480
敷地面積	33,913.13m ² (約10,258坪)
延床面積	62,281.32m ² (約18,840坪)
構造	地上4階建、鉄骨造
主要取扱品	食品、エレクトロニクス、その他(通販)など



海外の重点施策

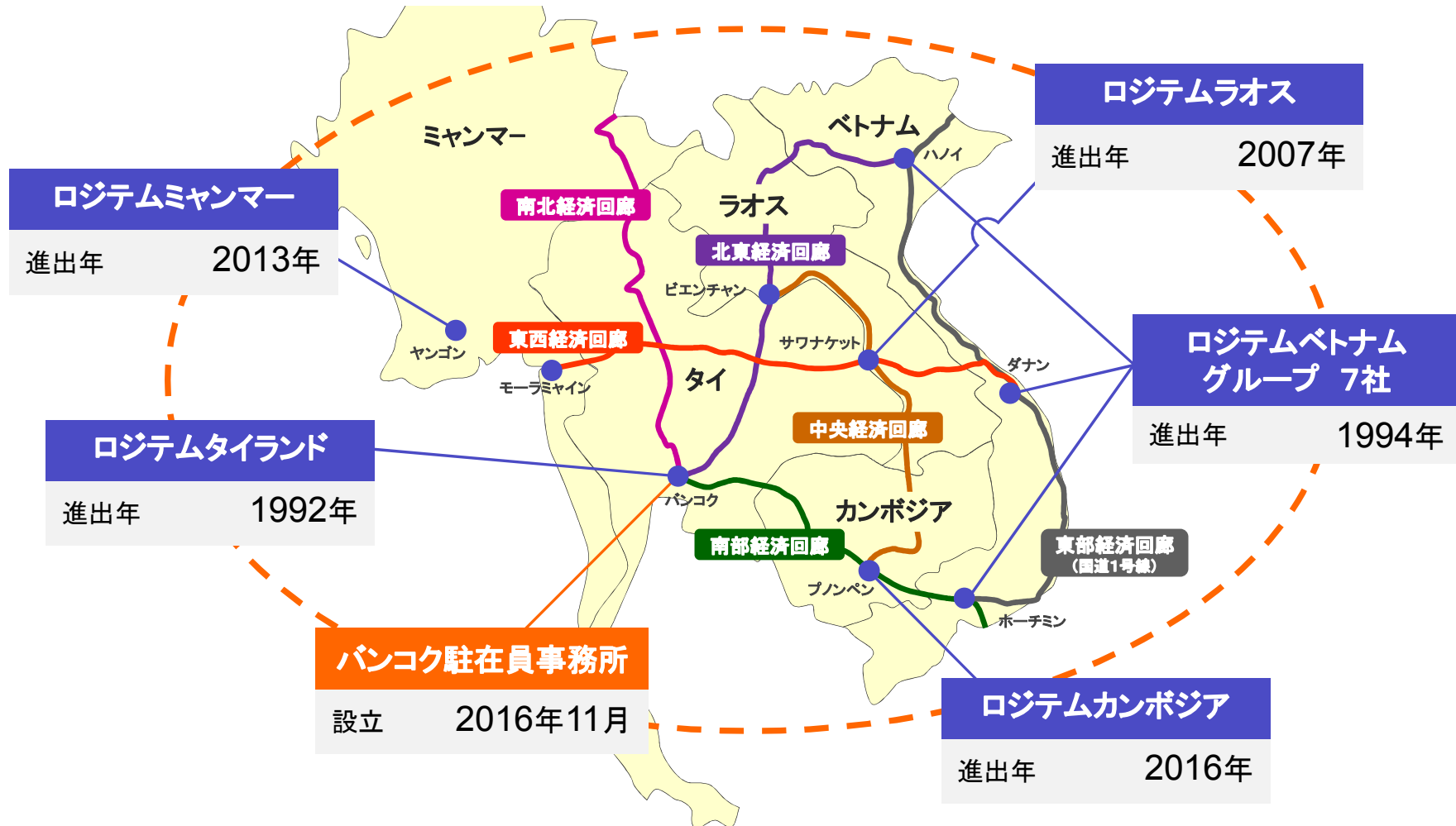
海外 アジア地域の事業展開を加速

- ・インドシナ半島域内の国際陸上輸送網拡充によるクロスボーダー輸送の拡大
- ・冷凍冷蔵分野を含めた食品物流の拡大
- ・グループ連携によるグローバルな営業開発の推進
- ・成長市場へのシフトを見据えた新規事業の検討
- ・各進出国における管理体制の強化
- ・グループ間の交流による人財育成の強化



インドシナ半島地域の成長戦略

インドシナ半島地域におけるクロスボーダー輸送の拡大を推進



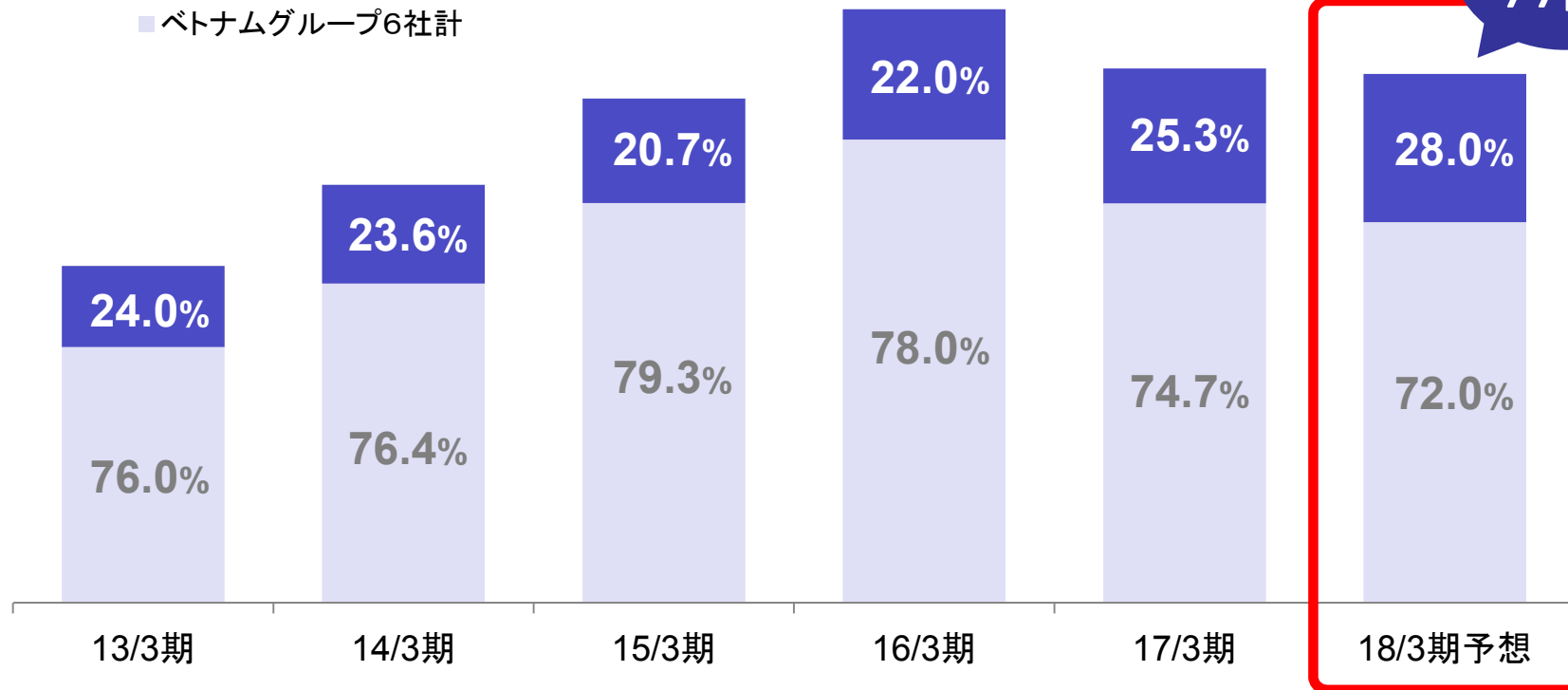


海外法人の売上構成

ベトナム以外の海外法人のシェアが拡大

海外売上構成比

- ほか海外8社計
- ベトナムグループ6社計



海外売上
77億円

※ 海外所在地別の売上構成比(グループ間取引調整後)
※ ほか海外8社: 中華圏、タイ、ラオス、ミャンマー、カンボジア



ベトナムグループの業績推移

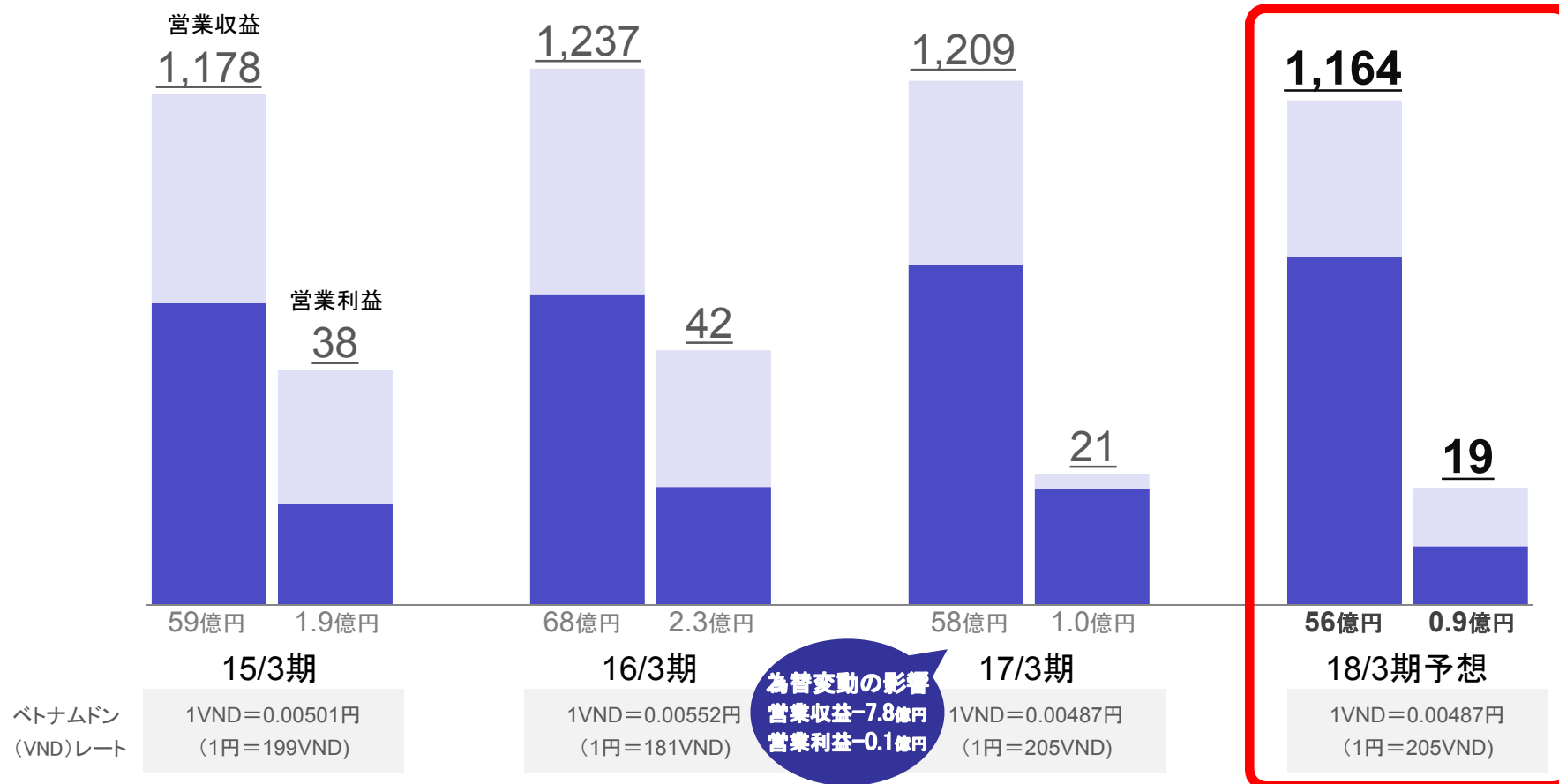
物流事業は堅調に推移

ベトナムグループ業績

※ベトナムグループ6社の連結数値（ベトナムグループ間取引調整後）

（単位：10億VND）

■ 物流事業 ■ その他事業





ベトナムグループの重点施策

ベトナム国内物流を強化し、海外の事業展開を牽引

ベトナムグループ



旅客運送事業

- ・新規契約の推進と安定利益の追求
- ・人材育成、管理体制強化による高品質なサービスの提供
- ・新たなサービスによるハイヤー稼働率の向上



物流事業

- ・冷凍冷蔵品を含む食品物流の拡大
- ・拠点の拡充による輸送網の整備
- ・3PL事業の拡大



卸売・小売事業

- ・冷凍品を中心とした輸入販売の拡大
- ・店舗運営の再構築による収益性の改善
- ・物流事業との連携強化



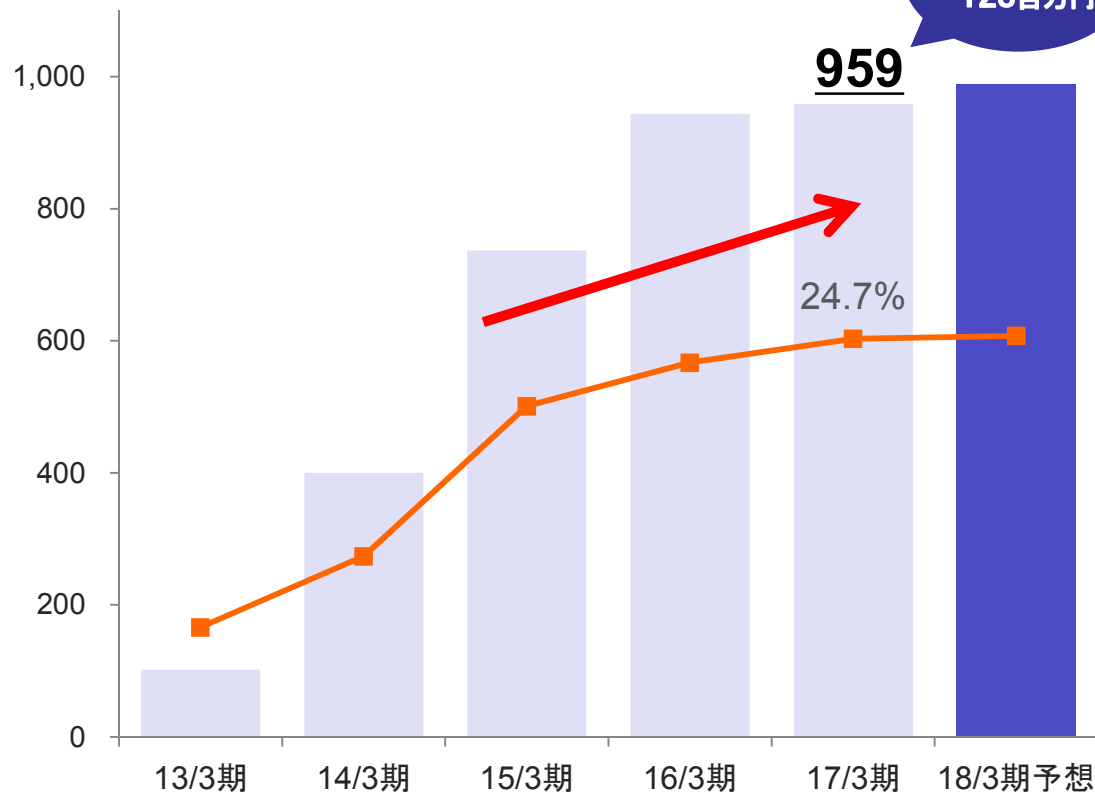


ベトナム、食品物流の拡大

新規得意先の獲得もあり拡大基調で推移

営業収益(食品物流)

(単位:百万円) ※LOGITEM VIETNAM CORPとLOGITEM VIETNAM NO.2
の売上(単純合算)に占める食品関連の売上高とその割合

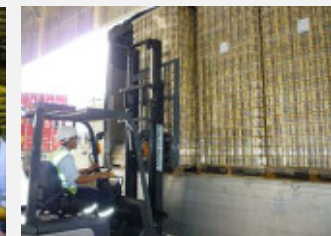


業務内容(食品物流)

- ・配送センター内での入出庫・保管・在庫管理
- ・各配送センターから店舗までのトラック輸送
- ・各セールスデポの営業用車両リース業務



- ・工場の構内作業24時間体制、配送





ベトナム、冷凍冷蔵倉庫事業を開始

冷凍冷蔵食品の取扱いに向け営業活動を推進



倉庫概要

面積	土地面積 19,000㎡ 延床面積 7,000㎡
構造	平屋建 庫内13区画
温度帯	超低温 -50℃ 冷凍 -25℃~-18℃ チルド -5℃~+5℃ 低温 0℃~+15℃ 定温 +5℃~+25℃
設備等	ドックシェルター17基、ドックレベラー4基、非常用発電機、 防熱対策設備、陽圧空調設備、24H警備体制、防虫防鼠対策等

CLK COLD STORAGE COMPANY LIMITED

所在地	ベトナム国ビンズン省
資本金	15百万USDドル
設立	2015年4月
事業開始	2016年7月
出資比率	日本ロジテム(株) 26% 川崎汽船(株)25% (株)海外需要開拓支援機構49%



インドシナ半島地域各社の重点施策

各社事業規模の拡大を進める





資本政策について(配当)

基本方針

安定配当の継続

株主の皆様に対する安定した配当の継続を経営の最重要課題の一つとして位置付けており、業績の進展状況や配当性向等を勘案し、利益配分に積極的に取り組んでいく方針です。

<1株あたり年間配当額> ※18/3期末配当(予想)は株式併合を考慮した金額(考慮しない場合は、1株当たり期末配当金4.00円、年間配当金は8.00円)

	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期(予想)
第2四半期末	4.00円	4.00円	4.00円	4.00円	4.00円
期末	4.00円	4.00円	4.00円	4.00円	40.00円
年間	8.00円	8.00円	8.00円	8.00円	—
配当性向(連結)	137.5%	—	241.2%	23.6%	—

株式併合および単元株式数の変更

・株式併合

普通株式10株につき1株の割合で併合

・単元株式数の変更

1,000株から100株に変更

※いずれも2017年6月29日開催予定の第101回定時株主総会での承認可決を条件に、2017年10月1日を効力発生日として実施する予定であります。



日本一信頼される企業グループを目指す

保管、荷役、流通加工、情報システム、3PLへと進化するロジスティクス業界





【参考資料】当社グループの概要①

ロジテムグループの事業

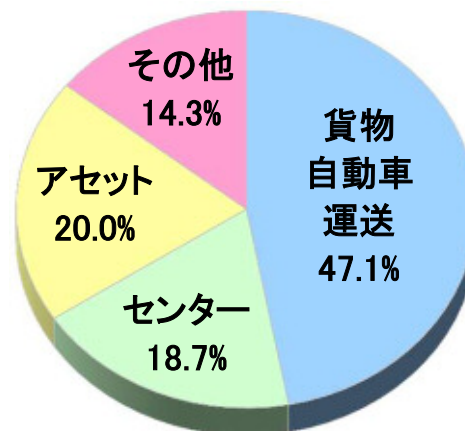
事業の種類別セグメント

貨物自動車運送事業
トラックなどを使用して貨物を運送する事業

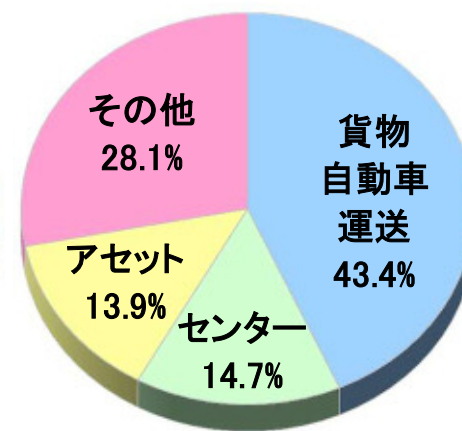
センター事業
貨物の入出庫などの荷役、流通加工、事務代行を行う事業

アセット事業
貨物の保管、不動産賃貸借および仲介を行う事業

その他事業
引越事業、施工関連事業、輸出入通関事業、旅客自動車運送事業などの物流周辺事業



連結売上高



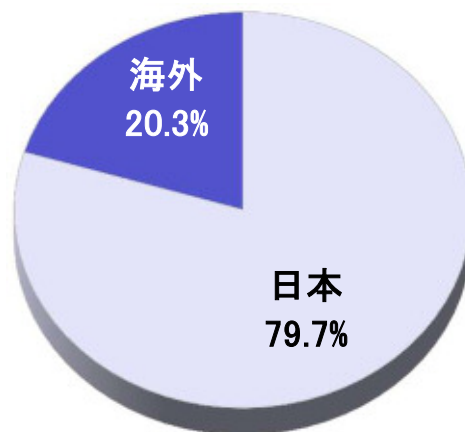
セグメント利益

所在地別セグメント

日本

海外

ベトナム、中華圏、タイ、ラオス、ミャンマー、カンボジア



連結売上高

品目別セグメント

アパレル
3.5%

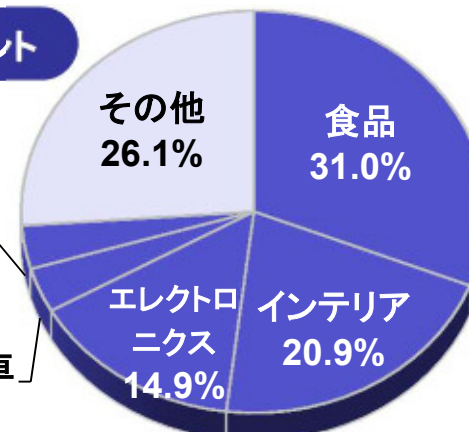
食品
31.0%

自動車
関連
3.6%

インテリア
20.9%

その他
26.1%

エレクトロ
ニクス
14.9%



連結売上高

(17年3月期データ)

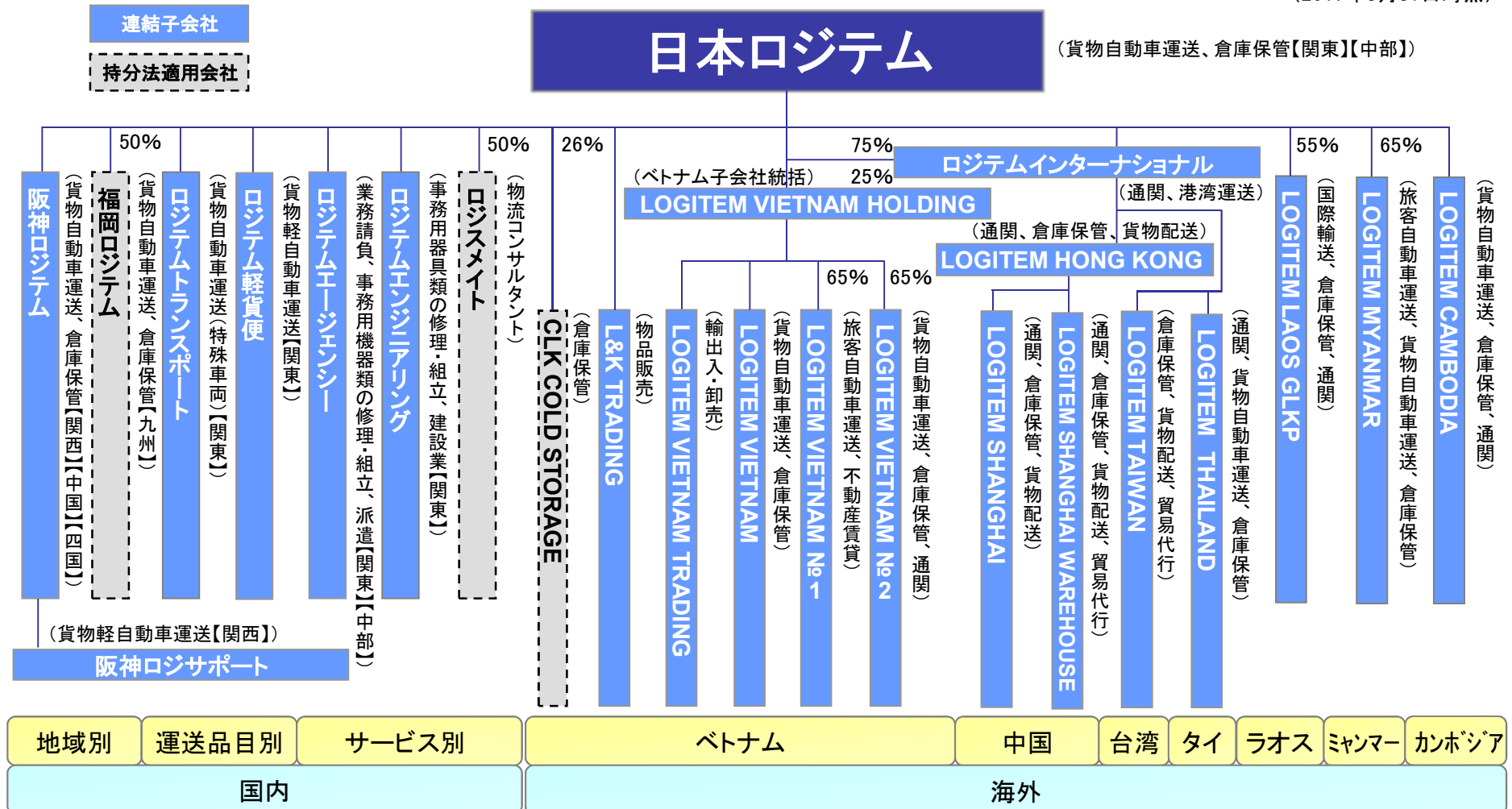


【参考資料】当社グループの概要②

ロジテムグループ

地域・事業体別に国内・海外に24社のグループ会社

(2017年3月31日時点)





- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。



IRに関するお問合せ先

日本ロジテム株式会社 総合企画部 総合企画課

東京都港区新橋5-11-3

TEL: 03-3433-6711

物流センター・物流アウトソーシングなら

物流相談.com

<http://www.b-soudan.com>